

例年よりも暖かい日々でしたが突然寒さがやって来てびっくりでした。2019年は平成から令和へと元号が変わり、ラグビーで日本がワンチームとなった一年でした。いよいよ今年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。とても楽しみです。今号では、春の市民大茶会やいけばな展のお知らせのほか、初釜茶会や新春文化団体交流会の様子をお届けします。文化とスポーツどちらも楽しむ2020年にしませんか？

春の市民大茶会(前期・後期)を開催します。

毎年恒例の春の市民大茶会を開催します。お茶の作法を知らなくても気軽に楽しんでいただける和やかな雰囲気のお茶会です。前期は桜を、後期はつつじの花を楽しみながら、ぜひお気軽にご参加ください。日程と参加流派は次のとおりです。

と き ●【前期】令和2年4月5日【日】
【後期】令和2年4月26日【日】

と ころ ●豊橋市民文化会館

▶日時／【前期】4月5日(日)午前10時～午後3時【後期】4月26日(日)午前10時～午後3時 ▶会場／豊橋市民文化会館

▶参加流派／【前期】表千家清和会、裏千家今和会、茶道宗偏吉田流青年部、宗偏流豊橋支部、表千家不白流、松月流(順不同) 【後期】表千家豊水会、裏千家静和会、茶道宗偏吉田流、松尾流、煎茶売茶流、南坊流(順不同) ▶茶券販売／前売1,000円(2席綴り)、当日は1席600円 ▶問合せ／豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)



豊橋総合いけばな展を開催します。

豊橋華道連盟に所属する9流派の合同いけばな展です。各流派出色の作品で、見ごたえのある花展となります。ぜひご覧ください。また同会場にて演奏会(26日のみ)も予定しております。

と き ●令和2年4月25日【土】～26日【日】

と ころ ●豊橋市民文化会館2階展示室

▶会期／令和2年4月25日(土)～26日(日)午前10時～午後4時 ▶会場／豊橋市民文化会館2階展示室 ▶出瓶団体(予定)／嵯峨御流、華道家元坊豊橋、小原流、南宗流、真生流、日本生花司松月堂古流、花芸安達流、日本華道松月、天生流(順不同) ▶問合せ／豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)



豊橋茶道クラブ 初釜茶会を開催しました。

新春に執り行われる「豊橋茶道クラブ月例茶会」…今年も「初釜」が「豊橋市三の丸会館」において、盛大に開かれました。この度の担当は、『裏千家今和会』の皆さん。

待合の床には、茶道研究誌「せらぎ」を発刊するなど茶道文化の啓蒙に尽力した楽家13代惺入(せいにいゅう)が描いた干支の子(ネズミ)の軸が掛けられ、本席の床には様々な願い事が成就するようにと見事な垂れ柳による「結柳(むすびやなぎ)」、また花入には、鶯神楽(うぐいすかぐら)と椿が活けられていました。

「初釜」の主菓子(おもがし)は、新年の行事にふさわしく、新春を感じさせるような鮮やかな色合いと正月の華やかさをあらわすものが使われます。

『裏千家』は、上生菓子の《花びら餅》です。

白い丸餅の上に赤い小豆汁で染めた菱形の薄い餅を重ね、その上に白味噌餡、甘く煮た「ふくさ牛蒡(ゴボウ)」をのせて半月形に包んだもので、宮中のおせち料理の一つ《菱葩(ひしはなびら)》を原型とする由緒ある和菓子です。

伝統的な甘味のあとにいただく一服の抹茶は、最高でした。

午後には豊橋市長をはじめ、豊橋市議会議長や豊橋文化振興財団理事長も訪れ、新春の茶会を楽しんでいました。



新春文化団体交流会を開催しました。

1月24日(金)、ホテルアークリッシュ豊橋にて「新春文化団体交流会」を開催しました。68の文化団体、豊橋市長、中日新聞社ほか地元メディア、文化振興財団役員など、総勢114人の参加がありました。財団理事長のあいさつ、豊橋市長の祝辞、また各文化団体へのインタビュー、鯉廣会による日本舞踊の披露、日本壮心流による剣詩舞の披露など、盛りだくさんでにぎやかな会となりました。



日本壮心流宗家 入倉昭山



鯉廣会 西川廣音

令和2年度 維持会員会費納入のお願い。

豊橋文化振興財団では、財団の目的及び事業に賛同する維持会員の皆様の財政的支援および文化事業への参加を通じて、今年度も充実した事業運営ができております。心よりお礼申し上げます。

新年度も引き続き、ご支援・ご協力賜りたく、平成31年度・令和元年度の維持会員の皆様には、3月上旬に更新のご案内を送付させていただきます。指定の方法にてお支払いいただきますようお願いいたします。

▶会員期間／令和2年4月1日～令和3年3月31日 ▶会費／普通個人会員：1口 3,000円、特別個人会員：1口 10,000円、特別団体会員：1口 10,000円、特別法体会員：1口 20,000円、特別賛助会員：1口 50,000円

●特定公益増進法人に対する寄付金について

当財団の維持会員としての会費は、所得税法施行令第217条第1項第3号及び法人税法施行令第77条第1項第3号に該当する特定公益増進法人として、寄付金控除の対象となります。詳細につきましては、お送りのご案内をご覧ください。豊橋文化振興財団事務局までお問い合わせください。

新春ご挨拶

公益財団法人豊橋文化振興財団
理事長 藤原俊男



謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のおおきたてを賜り、厚く御礼申し上げます。

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。1964年の東京オリンピック開会式入場行進で使用された『オリンピック・マーチ』は、運動会でよく使用されるので皆様一度は耳にしたことのある曲かと思えます。この曲を作曲された福島出身の古関裕和さんと、豊橋出身の妻・金子さんをモデルにしたNHK連続テレビ小説『エール』が今年の3月末から放送されますが、ふたりを結び付けたのは「音楽」という文化でした。素晴らしい文化は、国や言葉、世代や意見の違いを超えて人と人を結び付け、絆を深めることができますが、これはスポーツも同じではないでしょうか。文化とスポーツの力で世界中がひとつになり、笑顔溢れる一年になるよう期待を膨らませております。

さて、当財団は本年も引き続き公演事業や教育普及事業などを展開するとともに、7月には愛知県文化協会連合会東三河部芸能大会、10月には愛知県民茶会が控えています。皆様に文化を楽しんでいただけるよう努めてまいりますので、より多くの方にお越しいただければ幸いです。

昭和21年に豊橋文化協会として発足した当財団は、昭和、平成、そして令和へと時代を超えて今日に至りますが、これもひとえに皆様方のおかげでございます。深く感謝いたしますとともに、今後も豊橋に豊かな文化を育み未来へつなげていくため、ともに「ワンチーム」として引き続きお力添え賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年におきましても皆様方がご健康で、益々活躍されることをお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

財団加盟美術団体選抜展を開催しました。

1月21日(火)から26日(日)までの6日間、豊橋市美術博物館の1階展示室において「第37回財団加盟美術団体選抜展」を開催しました。

写真部門3団体と書道部門13団体によるこの合同作品展には、各団体から選抜された153点の力作が集まりました。

第1展示室に写真作品を、第2・第3展示室に書道作品を一堂に展示し、多くの来場者に御覧いただき、好評でした。



文化団体紹介

Vol.29

勝奈栄会

「いい音を出そう」という気持ちが大切

今回は勝奈栄会さんへおじゃましてきました。この日は5月に開催される長唄演奏会に向けて練習されており、美しい音色が部屋の外まで響いていました。

勝奈栄会は現在13名ほどで活動されており、お稽古はマンツーマンで行います。「歌いながらお稽古しますよ!」と笑顔を見せてくださいました。

先生が長唄を始められたのは小学4年生の頃、友達に誘われたのがきっかけでした。「三味線を始めるなら皮を張りなおしてあげよう」と、ご自宅にあった皮の破れた三味線をおじさんが直してくださったそうです。結婚・出産・育児で間が空き、一番下のお子さんが3歳になった頃に再開。「暗譜しているからすぐに弾ける」と重宝されたそうです。

昨年4月に東京の歌舞伎座で行われた杵勝会の全国大会では、総勢430名による合奏もあり、勝奈栄会からは先生を含め8名が参加されました。

この日お稽古を受けていたお弟子さんは、「いただいた三味線があり自己流で弾いていましたが、上手くならなくて3年ほど前から習い始めました。もともと日本舞踊を習っていたので長唄が好きなのも始めたきっかけです。勘所を覚えたり暗譜したりするのが難しいですが、やはり琴線に触れる音が魅力的ですね。」と話されました。

「どの楽器もそうですが、弾けばいい、叩けばいい、というものではありません。いい音を出そうという気持ちが大切です。習っているみなさんの音がどんどん良くなっていくのが嬉しいです。」と語られる先生。長唄演奏会は節目の50回を迎え、勝奈栄会は『廓丹前』、『外記猿』、三弦二重奏曲『太鼓の曲』を演奏されます。また、師匠連による『勸進帳』、全員による『越後獅子』の演奏も予定されています。「第50回記念長唄演奏会に向けて、一丸となって練習しています!」と意気込みを語ってくださいました。

ご興味のある方はぜひ事務局まで。



お稽古の様子



杵勝会 全国大会での1コマ

